

『新型コロナウイルス対策』で皆さんが忘れてのこと
それは

「お腹(膵臓)を意識した 十分な安静」です。

何故日本では急激な感染拡大が起こらないのか？

最近の日本では“感染源不明”のケースが急増し、「感染拡大（オーバーシュート）」への不安が叫ばれつつありますが、『膵臓医者』を掲げている私としては「諸外国の方たちと比べ体力・消化能力が劣り、体調不良や熱が出るとすぐに無理をしなくなり・食べられなくなる日本人の根本的な体質が自然な形で体力・免疫力確保に働き、病気の進展・悪化を防いでいるため」と考えます。この監視・調整役を担っているのが、お腹（膵臓）です。阪神の藤波投手のケースはこの典型例で、膵負荷による鼻や口腔粘膜のむくみが早期に“異状”を知らせてくれたおかげで大きな問題に発展せずに済んだと考えられました。

これ以降については
「新型コロナウイルス対策（その6）」をご覧ください。

川鳶内科小児科クリニック TEL.0285-37-7800

〒329-0611 栃木県河内郡上三川町上三川2863-1 <http://www.k-nscl.com/>